

6月1日(月)「第36回イオン環境活動助成」公募開始 ～里山の保全と利活用を通じて、豊かな自然を次代に繋ぐ～

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長以下 当財団)は、6月1日(月)から「第36回イオン環境活動助成」の公募を開始します。

当財団は、1990年設立以来、世界各地で地域ボランティアとともに、豊かな自然を守り、環境活動に積極的に取り組む非営利団体を対象に、毎年総額1億円の助成公募を行っています。過去35年間で3,657団体に対し、総額32億9,235万円の助成を実施しました。

本年は、テーマを「里山の保全と利活用」とし、各地の里山が抱えている様々な課題解決に取り組む団体を募集します。

また、募集にあたり、オンラインで公募説明会を開催し、応募方法の説明とあわせ、現在助成を受けている団体より環境活動について発表していただきます。

当財団は、ひとつしかない地球を次代へ引き継ぐため、これからも地域の皆さまと連携し、環境活動を積極的に推進してまいります。

【公募概要】

公募テーマ	「里山(里地・里川・里湖・里海)の保全と利活用」				
活動分野	① 里山の再生(植樹を含む) ② 里山の伝承 ③ 被災地の里山復興 ④ 環境教育 ⑤ 野生動植物・絶滅危惧種の保全				
助成総額	1億円				
対象団体	非営利団体 人と自然が共生する地域づくりを通じて豊かな自然を次代に繋ぐ活動に取り組む団体				
応募期間	2026年6月1日(月)～7月20日(月・祝)				
活動対象期間	2027年4月1日～2028年3月31日				
応募方法	オンライン申請				
公募説明会	オンライン開催				
	日程	6月1日(月)	6月6日(土)	6月12日(金)	6月28日(日)
	時間	10:00～11:00	10:00～11:00	10:00～11:00	10:00～11:00
		17:00～18:00	17:00～18:00	17:00～18:00	17:00～18:00

応募方法・公募説明会の詳細は、当財団ホームページをご覧ください:

<https://www.aeonkankyozaidan.or.jp/>

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也(当財団名誉理事長、イオン株式会社名誉会長相談役)により、日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動してまいりました。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【助成を受けている団体との連携】

各団体が里山の保全活動における担い手不足等の課題を抱えている中、当財団では団体同士や当財団との交流・情報共有を通じて関係を深めています。各地での課題や成功事例等を共有することで、新たな連携や取組みを共に考え、最終的に地域における環境活動の活性化や、団体同士のネットワークづくりを推進しています。

連携事例のひとつとして、団体の活動地において「里山体験エコツアー」を実施しています。本ツアーを通じ、現代の里山が直面する課題やその価値への理解を深め、参加者一人ひとりが今後の暮らしや行動について考えるきっかけとなることを目指しています。

＜前回の里山体験エコツアー＞

開催日：2026年3月15日(日)

開催場所：群馬県利根郡みなかみ町

協力：特定非営利活動法人里山環境さなざわ



薪割り体験



クロサンショウウオの調査



里山防砂についてのレクチャー

【イオンSATOYAMAフォーラム】

「里山」へのもうひとつの取組みとして、複数の大学と連携した「イオンSATOYAMAフォーラム」を開催しています。本フォーラムでは、里山に関して共同研究をしている大学とともに、これまでの活動や研究成果から得た知見をもとに、里山の新たな可能性を見出し、広く発信しています。

回数	開催日	テーマ
第1回	2023年12月12日(火)	里山が持つ新たな価値創造＝ネイチャーポジティブとウェルビーイング
第2回	2025年2月18日(火)	みんなで考えつくる ー新しいSATOYAMA(里山)ー
第3回	2026年2月18日(水)	里山・地域コミュニティがもつレジリエンス